

ちばけん公民館 スタッフニュース



花が咲き乱れる
熊野の清水公園



清水の里
熊野直売所



わがまちじまん! 長南町「弘法の霊泉」熊野の清水 ゆや

長南町は、千葉県のほぼ中央に位置し、清らかな水と豊かな自然に恵まれた町です。

町の南部に位置し、まわりを木々に囲まれた「熊野の清水」は、畧縁起によると、弘法大師が全国行脚の途中にこの地に立ち寄った際、水がなく困っている農民たちをみて、その法力で水を沸かせたと伝えられています。

また室町時代から約100年の間、鶴岡八幡宮直営の湯治場としても栄えていました。

現在では、農耕・生活用水として利用されており、弘法大師にちなみ別名「弘法の霊泉」とも呼ばれています。昭和60年3月には環境庁（現在の環境省）の名水百選に県内で唯一選ばれたこともあり、清水を汲みに来る人が後を絶ちません。

平成18年3月には熊野の清水公園（0.80ha）が整備されました。この公園は、地元ボランティアの皆さんによって手入れがされ、季節ごとに違った表情を見せ訪れる人々の目を楽しませてくれます。また、近隣の農業生産者から新鮮な季節の野菜や米、梅干、加工品などを販売する清水の里熊野直売所もあります。

平成18年の秋から毎年、「熊野の清水祭り」が開催されレンコンやシタケ、自然薯などの特産物の販売、地元の人たちによる無償配布など、町内外から多くの方が訪れ、大変な賑わいとなっています。ぜひ一度、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

平成21年度県公連総会を開催

5月28日、千葉県総合教育センターにおいて平成21年度総会を開催しました。

県生涯学習課課長御代川薫さんを来賓に迎え、143人の出席者のもと、朱膳寺宏一会長あいさつの後、永年、公民館事業への貢献された方々に対し功績表彰を行いました。今年度は3人の公民館運営審議会委員、2人の本公連専門部会員の方々へ感謝状を、27人の永年勤続職員に表彰状を贈呈しました。

議事は平成20年度事業報告及び歳入歳出決算報告と会計監査報告、平成21年度事業計画（案）・歳入歳出予算（案）についてすべて原案どおり可決され、393万円の予算総額で事業を進めてまいります。

また、任期満了に伴い役員が全員改選となり、堀切公雄氏（市川市公民館センター長）が新会長として、会則改正案の承認を経て、朱膳寺宏一氏が顧問として承認されました。

総会終了後、専門委員会（館長部会・主事部会・研究委員会・広報委員会・研修委員会）は、



各々部（委員）会を開催。今年度の活動計画について協議を行いました。

今年度は、役員の任期満了により新たな役員体制で県公連活動を進めてまいります。公民館を取り巻く状況は変わらず厳しいものがありますが、県内公民館の振興・発展、職員相互の連携に寄与できるよう意欲的に活動に取り組んでまいります。会員のみなさまのご支援、ご協力をお願いいたします。

よろしくおねがいします

県公連役員（以下、枠内すべて敬称略）

- 【会 長】堀切公雄（市川市公民館センター）
- 【副 会 長】石井眞澄（千葉市幕張公民館）
石原秀樹（鎌ヶ谷市中央公民館）
芳澤勝廣（ふれあいプラザさかえ）
- 【事務局 長】高梨晶子（浦安市堀江公民館）

各部会長・専門委員長

- 【館長部会長】芳澤勝廣（ふれあいプラザさかえ）
- 【主事部会長】鈴木和代（木更津市西清川公民館）
- 【研究委員長】山下要一郎（木更津市中郷公民館）
- 【広報委員長】野田政実（千葉市草野公民館）
- 【研修委員長】高瀬義彰（松戸青少年会館）
- 監 事 江沢俊夫（千葉市千城台公民館）
岡野布治平（習志野市菊田公民館）
足立知哉（柏市中央公民館）

県公連事務局

- 【事務局 長】高梨晶子（浦安市堀江公民館）
- 【次 長】荒居富男（富里市富里中央公民館）
- 【次 長】大槻泰之（佐倉市和田公民館）

広報委員会を紹介

千 葉 市	野田 政実	千葉市草野公民館
葛 南	関口 博文	浦安市堀江公民館
東 葛 飾	近藤 武	我孫子市我孫子地区公民館
印 旛	矢口 浩子	富里市富里中央公民館
香取・海匝	越川 敏夫	神崎ふれあいプラザ文化ホール
山 武	小野谷典子	山武市成東中央公民館
長 生	大塚 孝一	長南町中央公民館
夷 隅	中村 壮一	勝浦市中央公民館
安 房	杉田 修一	南房総市丸山公民館
君津・市原	岩田 和久	富津市中央公民館





力を合わせてがんばりましょう 堀切公雄さん（市川市公民館センター長）

みなさん、こんにちは、市川市公民館センターの堀切と申します。

このたびは、千葉県公民館連絡協議会会長という歴史ある団体の重い役目を仰せつかり、身が引き締まる思いであります。この分野は、25年前に1年半所属していたことがあるといった程度の浅学の者でありますので、みなさんのご指導とご鞭撻だけが頼りです。

前任者の朱膳寺顧問や高梨事務局長をはじめとする役員の方々の教えをいただきながら、一刻も早く、みなさんのお役に立てるようがんばりますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、今、自治体は、どこも大変厳しい財政状況におかれています。とりわけ、公民館は、直接住民の“生き死に”に関係する部署ではないために、各市町村とも、予算がちょっと後回しになる傾向にあるようです。また、指定管理の問題や首長部局への移管問題など、社会教育の場から、貸し館に特化した場への動きがあったりと、公民館をとりまく環境は大きく変えられようとしています。

しかしながら、どういう形態になるにせよ、公民館は、地域住民の集いの拠点であり、地域の元気の発信源であることは間違いありません。私は「地域の元気は公民館の元気から」だと信じております。これからも、いろいろな困難は付いて回るでしょうが、地域住民の皆さんにとって元気の源となるような、快適で使いやすい元気な公民館をつくっていったらいいなと思っております。

これまで、みなさんが積み重ねて来た実践の成果と研修の実績を集めれば、大いなる力となることでしょう。みなさん、力を合わせてがんばりましょう。

第61回千葉県公民館研究大会 明日に向かって！公民館

～たのしい元気な公民館づくりをめざして～

【主催】 千葉県公民館連絡協議会

【主管】 第61回千葉県公民館研究大会実行委員会
東葛飾地区公民館連絡協議会

【期日】 平成21年11月18日(水)

【会場】 さわやかちば県民プラザ
〒277-0882 柏市柏の葉4丁目3番1号
☎04-7140-8600

【日程】 受付 9:30～10:00
開会式 10:00～10:30
記念対談 10:30～12:00
昼食休憩 12:00～13:00
分科会 13:00～15:45

【記念対談テーマ】

明日に向かって！公民館

～たのしい元気な公民館づくりをめざして～

【記念対談登壇者】

アナウンサーエッセイスト 村松 真貴子 氏
野田市長 根本 崇 氏

【分科会】

第1分科会 地域活性化の組織と公民館事業
第2分科会 公民館の管理運営と事業評価
第3分科会 期待される公民館職員
第4分科会 高齢社会と公民館
第5分科会 事業に生かす人権の視点
第6分科会 子育て支援と家庭教育
第7分科会 子ども・青少年の居場所作りと公民館

【問い合わせ】 第61回千葉県公民館研究大会実行委員会事務局 流山市中央公民館内

☎04-7158-3462 ☎04-7158-3442



社会教育法制定60周年記念 全国公民館研修大会

社会教育法60年とこれからの公民館

映 写 13:30～ シンポジウム 14:00～
閉 会 16:20～

【特別講演】

中央教育審議会前会長 山崎 正和 氏

【シンポジウム】

「公民館の歴史を再確認し、
新たな未来を築いていこう！」

○登壇者には、京都市長、文科省職員をはじめ、千葉県公連前会長も参加します。

【問い合わせ】 全国公民館研修大会事務局
第一航空サービス株式会社内 ☎03-3263-1893

【主催】 社団法人全国公民館連合会

【主管】 社会教育法制定60周年記念
全国公民館研修大会実行委員会

【期日】 平成21年10月16日(金) 参加無料

【会場】 東京国際フォーラム B-7ホール
有楽町（東京駅南口徒歩5分）

【日程】 受付 9:00～ 開会式 10:00～
特別講演 11:00～ 昼食休憩 12:15～

第120回主事部会研修会『今だからこそ基本理念を学ぶ』

～日々の公民館活動に、理念はこうかわる！～



7月14日、千葉市宮崎公民館を会場に、第120回主事部会研修会『今だからこそ基本理念を学ぶ』～日々の公民館活動に、理念はこうかわる！～が開催されました。

初めに堀切会長から「迷ったとき、基本理念に立ち返ればおのずと答えは見えてくる。」とのあいさつがあり、続いて日本公民館学会理事・前君津市八重原公民館長の新井孝男さんの講演が始まりました。

- 現在各自治体は予算・人材・指定管理者制度等情勢は厳しいと言われている中、全国的には公民館は予算・館数・職員数はあまり減っておらず、利用者数・事業数は増えている。全国の公民館はがんばっている。
- 管理運営から公民館経営の時代であり、評価（教育機関としての教育評価、学習者の学習評価、自己評価）が求められている。
- 教育基本法や社会教育法等の改定が行われている中でも公民館の目的は変わっておらず、国民



の集合結社の自由を保障する最も身近で重要な施設であり、「いかに貸さないか」ではなく「より貸すこと」を前提として判断すべきである。

- 市民は身近なところにある教育・学術及び文化活動、生活文化の振興、社会福祉の増進、生活の術を学ぶ機関として公民館を求めており、そうあるべきである。

などのお話がありました。

最後に『公民館は「集会場」「ハコモノ」ではない。市民が生きる術を身につける地域施設だ。』として、

「公民館には生きた歴史がある」

「公民館は人々の人生とかかわる」

「公民館はあたり前に必要なもの」

「公民館は地域づくりの中核である」

「公民館は地域を結び揺り動かす」

「公民館は地域に配置される」

をあげ、市全体及び対象地域について知ること、そしてその情報を市内全館が共有することがより良い公民館にしていくことであると締めくくりました。

県公連研修委員会からのお知らせ

今年度の初任職員研修会日程が決まりました！

「新しく公民館の仕事をする職員を対象に、公民館の基礎的な知識・技術及び見識を高めること」「県下市町村公民館の充実発展に資すること」を目的として開催している『初任職員研修会』です。

今年度は、10月2日(金)・11月20日(金)・12月18日(金)・1月15日(金)・2月5日(金)の計5日間で開催します。

詳細についての開催要項を各地区公連事務局を通じてお送りします。初任職員のみなさん、ぜひぜひ参加しましょう！



館長

指定管理者制度と 公民館事業を考える

成田市中央公民館 館長 和田 修さん



今、公民館は行政改革の流れもあり、指定管理者制度への移行が各自治体で検討され、既に実施されている公民館もあります。

しかし公民館は、行政と住民が真に接する場としてまた、地域住民の集いの場として重要な役割を果たしており、地域活性化のためにも必要であり、指定管理者制度としてはなじまないものと考えます。

公民館事業実施にあたっては、社会情勢はどうか、その地域がどのような傾向にあるのか、年代構成はどうなっているのか、地域は何を要求しているのか等を把握し、そして心の中の学習意欲を呼び起こすことを考え、事業の実施に繋げていくことが求められます。

これらを前提とし、公民館事業を考えると、まず市の基本方針を基に事業を検討します。21年度においては、子育て応援、市民協働など市の方

針と合致した事業の展開を図っております。その一端として、子育て応援では、子ども体験セミナー・0歳児から3歳児までの親子教室・夏休み子ども教室等を実施しております。市民協働の観点からは、地元と協働しての親子竹の子掘りと竹細工教室・親子えびがに釣り教室、そして各地域における生きがいセミナーを実施しております。また、年代構成の観点からはセカンドライフセミナー・男の料理教室等を実施し、福祉施策の立場から介護実践教室を導入しました。今後は、地域ボランティアの育成により、事業展開が図れるよう検討していきます。また、単に施設提供をするのではなく、自分たちの人生のあり方、仲間作りのキッカケや、同じ趣味を持つ人同士が繋がるようサークル育成していく所存です。

公民館スタッフのつばやきコーナー



「サン・フランシスコ号漂着 400周年」の文化事業にむけて

職員

御宿町公民館 中村 千代美さん

暑い夏が到来しました。御宿町公民館の事務室は午後からの西日が強く、事務室内の室温も天気の良い日は急上昇してしまいます。そこで取り組んでいるのが、グリーンカーテンの設置です。昨年はゴーヤを植えました。日除けとともに、大きなゴーヤも実り、来館者にも好評でした。そこで今年は、美しい花を咲かせようと朝顔を植えました。種は御宿にお住まいのお花の愛好者から分けていただき、苗から育てました。移植後はネットも自分たちの手でかけ、今もすくすくと成長しています。花が咲いて多くの来館者の目を楽しませてくれるとうれしいです。事務室を快適に過ごす日除けも大きな役割ではありますが。

さて、御宿町では、過去に歴史的な海難救助がありました。フィリピンの港を出港しメキシコに向かう木造船が御宿の沖で座礁して、300人を超す乗組員を岩和田の村民が身をていして救助しました。今年はその史実からちょうど400年、御宿町では様々な事業に取り組んでいます。公民館でもこの史実に思いを寄せる多くの方との交流も生まれました。

また、今年度から来館者の皆様が少しでも公民館で過ごしていただけるよう、ロビーに新聞紙を増やすとともに、数種の月刊誌も配置しました。公民館から発信できる情報には限りがありますが、来館者の皆さまから教えていただくことも沢山あります。これからも、来館者の皆さまとのふれあいを大切にしていきたいと思っております。



まちより むらより、

「熟年備学」～知っておきたい熟年の備え～

我孫子市我孫子地区公民館 ☎04-7182-0511

これからの社会変化と高齢社会が抱える問題をしっかり捉え、豊かで充実した人生を送るには、出来るだけ早くから将来に備える事が大切です。「熟年備学」は、今から将来の備えを考えておきたい方、まもなく現役生活を終え、第二の人生を迎えようとしている方、既に第二の人生を歩んでいる方やその家族など、40歳以上の方を対象にどんな心構えや備えが必要なのかを学び、これからの人生を考えてもらう講座です。

3年前に開設され、常に定員の2倍を超える応募があり、関心の高さがうかがえます。今年も年間12回の学習で、人生の大先輩から学ぶ「人生後半の生き方・暮らし方」、専門講師による「心と体の健康管理」や「介護とその予防」、「終の棲家選び」(施設見学)など、様々なテーマで40代から70代の方、40名が熱心に学んでいます。

昨年受講生の中には、奥さんから誘われご夫婦で受講された方もおられ、「定年後の過ごし方について、世の中には情報が溢れているが、一緒に話を聞ける場があって良かった」と、これからの生活を考え直すきっかけにもなっています。

講座終了後も、「熟年備学」で知り合った仲間同士で団体を結成し、更にレベルアップするために自主的に活動しています。



豊かな自然の中で体験学習を「自然大好き！ハッピータウン」

千葉市星久喜公民館 ☎043-266-4392



「泥だんごができたよ!」、「大きなミミズがいる!」そんな子ども達の声が聞きたくて、支川都川や青葉の森公園など自然に恵まれた地域を生かし、自然と触れ合う体験学習を始めて7年になります。

今年も小さい子から大きい子まで、40人の元気な親子が集まりました。まずは春、草花のお弁当作りや、花の色水遊びで支川都川を満喫。5月には近所から借りた畑でサツマイモの苗植えです。みんなで畝作りから始め、「大きなおイモが採れますように!」と苗を1本1本植えていきます。7月はザリガニ釣りに挑戦。先日のザリガニ釣りでは「わー、

釣れた!!」、「だれか取って～」と大賑わい。みんなで60匹くらい釣れて大収穫でした。夏休みには、サツマイモ畑の草取りと、ジャガイモでイモ版作り。10月にはいよいよサツマイモの収穫です。この日はカマやクワを使って、お父さんお母さんに大活躍していただきます。自分の顔より大きなおイモがたくさん掘れて得意顔の子ども達。その後、掘ったサツマイモで芋ごはんに芋汁、芋蔓のきんぴらや芋ケーキなどイモ尽くしの御馳走をみんなで調理していただきます。その他、秋の実や葉で遊んだり、冬の火おこし体験、そして3月には「春を食べよう」と題して、支川都川でセリやナズナやノビル、ヨモギなど食べられる草花を取って、おひたしや天ぷらにして食べます。これには、子ども達だけでなくお母さん方にも「これなら飢え死にしないね」と大好評です。毎年少しずつバリエーションは変わりますが、1年を通して7回ほど各季節を楽しんでいます。

泥んこが平気で、素手で虫を捕まえられる、そんな子ども時代にはしかできないことをたくさん体験し、心の栄養を蓄えてほしいと思っています。

持ちより公民館だより

青空と太陽の下で「健康太極拳」

浦安市美浜公民館 ☎047-352-8811



「健康太極拳」は、その名のとおり「太極拳を通して健康に毎日を過ごすこと」を目指して、平成21年度、年間を通しての講座として4月にスタートさせました。屋外で1週間に3回（月・火・水）、講師を招いて1回講座を開き、残り2回は予習・復習と自主練習を行っています。年間を通しての講座は初めて、しかも全93回という回数に、はじめはどうなるのだろうかという不安がありました。講師がいない講座日には「美浜太極拳サークル」の方々の協力もあり、予習・復習・自主練習にと励んでいます。

このように、最初は週3回という講座で、参加者に続けてもらえるだろうか、また屋外での講座ということもあり梅雨時の天候等々心配もしましたが、4月から始まり6ヶ月目を迎えた今、「朝の太極拳で体がほぐれる」、「いい運動になる」、「屋外で気持ちがいい」等、参加者からの声も聞かれるようになり、この講座が少しずつではありますが定着してきたと実感しています。なにより、この講座は1人でも気兼ねなく参加できることから男性の参加者も多く、また屋外での講座のため実際に太極拳をやっているところを見ることが出来る等、参加するきっかけが作りやすい講座だったのではないかと思います。今では終わった後に、参加者同士でわからないところを聞きあったり、熱心に話をしている姿も見かけるようになりました。

これからも参加者と一緒に、来年の3月まで「太極拳で健康に！」を目標に、元気に楽しく続けていきたいと思っています。

「見たり・聞いたり 安房の国」

南房総市丸山公民館 ☎0470-46-4031



安房地方のことを知りたい、学びたいという人を対象に館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町の公民館連携講座「見たり・聞いたり 安房の国」がスタートしました。安房地域は、古来から「安房国」として文化圏を共有し、また、地域住民の生活圏も拡大し様々な交流も行われています。

今まで各市町で開催している「ふるさとについて学ぶ講座」を安房地域エリアまで拡大して、各市町の公民館が1回ずつ講座を担当し、今年度は、全4回の子で「安房の国」を巡ります。

第1回は、館山市中央公民館の担当で、テーマは、「房総南部の地層の成り立ちについて」。県立安房高

校の高野仁先生を講師に招いて行われました。各市町の公民館から生涯学習バスなどで館山中央公民館に集合した参加者88人は、午前中は、講義を聞き、午後からは、バスで現地に赴き、地層の成り立ちについて学習しました。

現地学習で最初に訪れた場所は、「安房白浜トンネル」脇の地層。巨大な乱堆積物は、約200万年前の地震により砂層が液状化して流動したため、発生したものです。次に訪れたのは、白浜地域の海岸に隆起した屏風岩（写真）。直立した泥岩と凝灰岩の互層が波の侵食によって、凝灰岩部がくぼみ、泥岩が残った地形で、巨大な洗濯板状になっています。これらの地層の成り立ちを初めて学び、実際に現地を見学した受講生からは、「自然のパワーに圧倒されました」「驚きと感動を味わいました」等の感想が寄せられました。

安房地方公民館連携講座は、初めての試みで戸惑いもありますが、学習に幅が広がり、非常に有意義であることから、これからも継続的に実施していきたいと考えています。



★ S A F F ★ スタッフニュース 100号 達成!

このスタッフニュースも、とうとう100号の発行を迎えました!これまで、この広報紙を通して様々な行事・研修や県内公民館の情報を掲載してきましたが、それは皆様が常に市民最前線の現場である公民館で活動してこられたからこそ発行を続けることができたのであり、公民館職員の皆様によって作り上げられてきたのだと言えます。これからも、職員皆様の公民館活動にかける熱い情熱(と、少しの予算)が消えない限り、それを広報紙という形で皆様に伝えていきたいと思ひます。

第1号 (昭和51年11月17日発行)



第30号 (関プロ特集号)



第50号



第65号 (名称がスタッフニュースに変更)



あとがき

この平成21年度から2年間にわたり広報委員会の委員になり、年3回の広報紙を作成することになりました。そして、このたび1回目のスタッフニュースを発行することができました。

これもひとえに、会員皆様のご協力並びにご指導があったものと深く感謝しております。

これからも、会員皆様が読んで興味を持たれる新しい広報紙づくりを目指していきたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご協力をくださいますようよろしくお願いいたします。

(大塚)

ちばけん公民館スタッフニュース

編集：千葉県公民館連絡協議会 広報委員会

委員長：野田 政実(千葉市草野公民館)

〒263-0051千葉市稲毛区園王町384-93

編集長：大塚 孝一(長南町中央公民館)

〒297-0142長生郡長南町長南2145

発行：千葉県公民館連絡協議会

印刷：株式会社豊文堂